

## 平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	上伊那の観光資源発掘事業
事業主体 (連絡先)	上伊那観光連盟 (上伊那広域連合 リニア推進課 内 電話：0265-78-2500)
事業区分	⑥ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	7,851,600 円 (うち支援金：5,993,000 円)

### 事業内容

- 旅づくり塾の開催
  - キックオフミーティング／平成28年5月13日(金)  
内容：講演「食による地域活性化の取組み」参加者／34名
  - 第1回 5月24日(月) 上伊那ならではの食とは／48名
  - 第2回 6月10日(金) アピールポイント、ターゲット／35名
  - 第3回 6月21日(火) 宣伝と広報戦略について／41名
- 着地型パンフレットの作成・配布
  - 作成物：「信州かみいなじゃらん」(ガレット版) 50,000部  
観光施設等への設置の他、各種イベントで地域PRに活用。
- ご当地愛フェイスブック開発
  - 地域主体の効果的・効率的情報発進のため専用 SNS を開発。  
10月より運用を開始。



【 旅づくり塾 】

### 【目標・ねらい】

- ① 上伊那地域の課題・ニーズの共有
- ② 地域魅力を具現化した新商品開発
- ③ 住民主体の地域づくり

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①地域住民を中心に行政機関や観光関係事業者等、多様な関係者が参画し、当地域のあるべき姿を具体的に共有できた。
- ②多くの関係者の活発な検討により、上伊那の強みのひとつである“食”の魅力を「信州伊那谷ガレット」として商品化できた。魅力ある地域づくりに対する意識を共有した多様な関係者の取り組みが徐々に地域に根を下ろし、大きな経済効果へとつながった。今後の継続的な動きにも期待できる。
- ③行政が「きっかけ」をつくり、それを住民が主体的に拡散・連携して、将来に向けた魅力ある地域づくりの土台が築かれた。今後も一過性でなく継続して活発な取り組みが行われることが期待でき、地域外へも効果的な情報発進が図られる。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

これまで支援金を活用し実施してきた各事業によって、この地域で生活する住民自身が地元の魅力を認識できるツールが得られた。魅力の認識は地域の愛着を生み、愛着をもって向き合う地元の姿は誇りへと変わる。地域で大切にされる多くの資源を更に発掘し、培われたネットワークや情報発進の手段を今後も有効活用して、地域内外から愛され来訪される「伊那谷」を目指し、継続して上伊那の魅力開発に取り組む。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

### ※自己評価【 A 】

#### 【理由】

地域や職種を越えた「人のつながり」が予想を遥かに上回って構築された。地域の熱は大きな経済効果を生み今後も更に成果が期待される。専用 SNS から発信される情報にも徐々に反応が強まっているので、旬な情報がより広範囲に効果的に発信されると考えられる。